

「土砂災害を少しでも防ごう」

兵庫小学校

6年

福田 ふくだ

真悠 まゆ

わたしは、土砂災害のことを、くわしく知  
らないので、土砂災害のことについて、調べ  
てみました。

土砂災害とは、地震や火山のふん火、大雨、  
たつ巻などで、山や、がけの土砂がくずれた  
りすることです。その、くずれた土砂が雨水  
などと混ざって家や道路や畑が土砂でうま  
たりすることもあります。それで、人の命ま  
で、うばわれてしまいます。

平成二十七年の、土砂災害発生件数は、な  
んど、七百八十四件です。つまり、平均1日  
に2件以上おきているということです。

では、なぜ日本では土砂災害が多いのでし  
ょうか。それは、雨や雪が多いからです。し  
かも、もろい地質の山が多いので、雨や風は  
どでくずれやすいからです。そこで、土砂災  
害を少しでもおさえるために、「砂防」とい  
うものがあります。私のお父さんの実家にモ  
砂防ダムがあります。お父さんの実家はうら  
ががけで、とても不安です。なので、砂防が

あるのだと思います。お父さんの実家は、回りが山なので、土砂災害が起きやすい場所です。

では、土砂災害を防ぐためには、私たちに、何ができるのでしょうか。それは、学校の、げんかんなどには、<sup>て</sup>ある、<sup>て</sup>土砂災害マップを見て、危険なところを知っておくことです。そうすれば、その危険なところに行く時は、注意して、ひなん場所などを確認に  
人できるからです。私は、今まで、一度も

た事がないので、危険な場所も、知っておきたいです。

もし、家にいた時に、土砂災害がおきたら、ひなん場所は、決まっています。それは、私の家の近くの坂井中学校というところ  
中学校はグラウンドが広かったり、体育館も広いので、安心です。

それに、お家の人と、連らくをとるために、お家の人の連らく先を聞いておかななくては、いけません。私は、お父さんのけいたい番号

も、お母さんのけいたい番号も、知っています。す。なので、災害がおきても、すぐには、連絡くがとれるので、安心です。

雨量のめやすというものがありません。55 10ミリは、地面のところどころに水たまりか  
できます。10と20ミリは、地面いちめん、  
水たまりができます。20と30ミリは、  
どぶがあふれたり、がけくずれが起これたり  
する危険があります。30ミリ以上は、洪水や

土砂災害の危険が大きいです。たぶん  
を始めます。雨量のめやすを見て、私は、20  
ミリ以上の雨がふっているときは、土砂災害  
などの危険が大きいです。地域にいたら、すぐには  
なんして、土砂災害にあわないように気をつ  
けたいです。でも、私の家の回りは、山がた  
くさんあるわけでもなく、大きな川があるわ  
けでもないのです。土砂災害がおこることは、  
そんなにはないと思います。でも、もしもの時  
のために、し、かりと備えておきたいです。

土砂災害のことを調べてみて、私は、平均

で、1日に、2件以上も土砂災害が起こって  
いるなんて、思いもしなかった。なので、おどろ  
きました。雨は、対策がされているとは、知  
りませんでした。なので、雨はおそろしいの  
だなと思いました。その被害を少なくするた  
めに、家族や友達、みんなにも話したいと思  
いました。